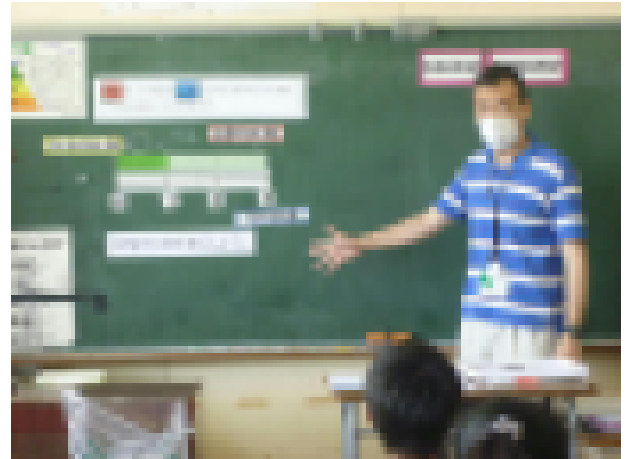


続・学びの実感

わり算のしかたを考えよう

◇お忙しい中の授業参観ありがとうございました。中途半端な責任感とでも言うのでしょうか「自分が最初に…」という考えもあり…また、今年度1回目の研究授業と言うこともあり…緊張しながらの授業のスタートでした。今年1年間学校全体で頑張っていきましょう。



◆学年部での協力体制のありがたさ

1組前谷学級での先行授業の見学が2時間。その後、今回取り組んだ本時の授業実践で1時間クラスを借りました。イメージはできていたものの、やはり机上の空論となってしまうことに猛反省。授業を参観してくださった学年部の先生方にアドバイスを受けながら指導案や板書計画等々…を考え直しての実践となりました。

◆事前検討会から…

○具体物操作について

折り紙の操作セットは、1セットとするが、児童の動きに合わせてもう1セット用意しておく。セットが少ないと操作活動する児童が限られ、多すぎると子供たち同士の学び合いの場が少なくなってしまうのでは…という配慮から。

○実物投影機について

子供たちの考えを共有できる機械ではあるが、黒板にその跡が残らない。「攻撃名」として残しておくのとよいのではないか。

○攻撃名について

友達の考え方を簡単にまとめた「攻撃名」を考えるのが難しそう。ポイントやキーワードから外れることがあるので、子供から出た「攻撃名」の後に担任がキーワードを押さえた名前を補足してはどうか。

○まとめについて

子供から出た「攻撃名」からでは、まとめの文が作りづらい。上記した担任の補足の文章を参考に考えさせてはどうか。

○担任の補足説明について

「担任の補足説明は不要」と昨年度学習したが、時間の最後に黒板で色紙を使って操作活動をしておいた方が、次時のわり算の筆算《大きな数から計算すること》につながりやすいのではないか。



◆事後検討会から…

《自評》

・事前授業の反省を生かし、解決法を決める時には、発表させないような形を取りました。前時までその形を取っていたので、問題を解くための方法は個々に決められたと

思います。

- 自力解決の時、はじめのうち固まってしまう児童が多く、時間を予定よりもたくさん取ってしまったのが後に響いてしまいました。
- 全員が答えを導き出してからのペア学習にはならなかった。アナウンスの不十分さが響いたのだと思います。
- 時間の最後のまとめが子供の言葉でとを考えていたが、無理矢理過ぎてしまいました。あらためて計画的に進める難しさを感じました。



《参観者から》

- 全体的に分かりやすい授業だったのではないか。
- 思いの外、いろいろな考え方が出ている。
- 説明の仕方が上手だったように思うし、友達の発表を聞く姿もよかったですように思う。
- 「今まで学習してきたことを生かして」を協調して進めてもよかったと思う。
- なかなか自分の考えがまとまらない児童に対して「色紙のところに行ってみたら？」と具体物操作への声掛けはよかったと思う。
- お金で考えていた児童もいた。最後にでも「こんな考え方があるよ」と紹介してもよかったのではないか。
- 最後のまとめの時に、①第1段階②第二段階とでもしてまとめたらよかったかも…。
- 「攻撃」というネーミングで意欲的になり、攻撃名をつけるで聞こうとする姿勢を作ることも作れそうだし、まとめる力も付きそうですね。
- 具体物を操作して、その場で解決できている児童もいたのでよかったのではないか。

◆課題のリレー

(有効…○ 課題…●)

- 具体物操作の場の設定は有効である。
- 自分なりの解き方を決めて取り組むと、実態に応じて解くことができる。
- 自力解決時の時間を使いすぎないようにするが、考える時間は必要。
- 「今まで学習してきたことを生かす」ことを意識させること。

◆お願い…

今年度も授業後に、「研究集録」ように①A3指導案、②学習活動の実際A3、年度末に③今年度の振り返りの3点セットを準備しておいてください。

次回の研究授業は…

7月 4年1組 前谷学級 「四角形を作ろう」(全校授業)
6年1組 佐藤学級 「比」

…です。

時間が許す範囲で、無理せず、事前検討会・授業・事後検討会に参加しましょう。

低学年・中学年・高学年

成 果	
課 題	

育てたい力

--